

みずほCustomer Desk Report 2016/09/09号(As of 2016/09/08)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	101.63
TKY 9:00AM	101.85	1.1238	114.44	0.9693	GBP/USD	1.3339
SYD-NY High	102.60	1.1328	115.45	0.9737	AUD/USD	0.7732
SYD-NY Low	101.41	1.1235	114.16	0.9650		0.7637
NY 5:00 PM	102.49	1.1261	115.37	0.9725		0.7643
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.98/12.555		Δ25RR	0.005	Yen Put Over	
NY DOW	18,479.91	▲46.23	債券市場			
NASDAQ	5,259.48	▲24.44	日本2年債	-0.1850	0.7bp	
S&P	2,181.30	▲4.86	日本10年債	-0.0340	1.4bp	
日経平均	16,958.77	▲53.67	米国2年債	0.7699	3.6bp	
TOPIX	1,345.95	▲3.58	米国5年債	1.1769	5.4bp	
シカゴ日経先物	16,955	25.00	米国10年債	1.5990	6.0bp	
ロンドンFT	6,858.70	12.12	独10年債	-0.0620	5.5bp	
DAX	10,675.29	▲77.69	英10年債	0.7580	7.9bp	
ハンセン指数	23,919.34	177.53	豪10年債	1.8620	3.3bp	
上海総合	3,095.95	4.03	為替市況	USD/CNH	6.6801	0.0087
USDJPY 3M Vol	12.07	▲0.15%	商品市況	ドルインデックス	95.03	0.07
USDJPY 6M Vol	11.50	▲0.09%	CRB指数	185.631	3.16	
EURJPY 3M Vol	11.36	0.03%	NY金	1,341.600	▲7.60	
EURJPY 6M Vol	11.30	▲0.09%	WTI	47.620	2.12	
			Dubai Spot	44.94	1.03	

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月8日	7:55	豪	ロウRBA副総裁挨拶	-
	8:50	日	対外・対内証券投資	-
	8:50	日	経常収支/貿易収支	-
	8:50	日	GDP・確報値(前期比/前期比年率)	7月 ¥1938.2B/¥613.9B ¥2073.3B/¥571.2B
	10:30	豪	貿易収支	2Q 0.2%/0.7%
	11:41	中	貿易収支	7月 -2410M -2700M
	11:41	中	輸出/輸入(前年比)	8月 \$52.05B \$58.85B
	13:30	日	中曾日銀副総裁講演	8月 -2.8%/1.5%
	20:45	欧	ECB政策金利発表	-
	21:30	欧	ドラギECB総裁会見	0.00%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	-
				259K 265K

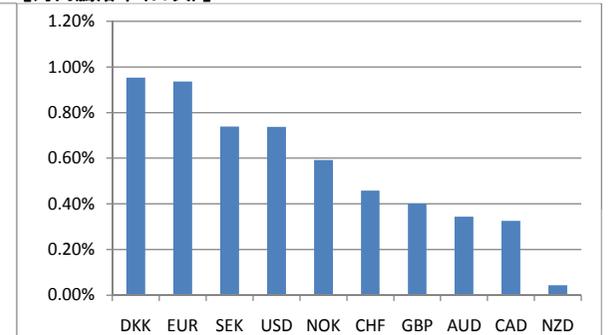
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月9日	10:30	中	CPI/PPPI(前期比)	8月 1.7%/-0.9%
	17:30	英	貿易収支	7月 -£4,200
	21:15	米	ローゼングレン・ボストン連銀総裁講演	-
	23:00	米	卸売在庫・確報値	7月 0.1%
	-	欧	ユーロ圏財務相会合(9月9日-10日)	-
				0.0%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	101.80-102.80	1.1200-1.1300	114.80-115.80

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場ドル円相場は上昇した。東京市場朝方は、実需のドル買いに101.90近辺まで上昇したが、その後は方向感なく半ばまで下落した。中曾日銀副総裁の発言を受けて乱高下する局面もみられたが、結局動意に乏しい展開の中、101円台半ばで引けた。欧州時間序盤は東京時間と同様に101円台で小動きとなったが、ECB定例理事会で金融緩和政策の据え置きを決定すると、独国債が売られ利回りが上昇。米州においては、発表された米在庫統計を受けた原油高、米金利上昇にドル買いが加速し102.60まで上昇した。本日アジア市場のドル円相場は引き続き方向感の出ない中、既往レンジにてもみ合いの展開となりそうだ。昨夜の値動きを受けて朝方はドル買い優勢の展開が見込まれるが、更なる円安には材料難か。海外時間のボストン連銀総裁の講演にて米金利に関するコメントがみられれば相場を動かす材料となりそうだ。

東京	東京時間オープン前に発表された本邦4-6月期GDP・2次速報値(前期比/年率)は+0.7%と、1次速報値(同+0.2)対比小幅に上方修正される結果となった一方、本邦7月経常収支は1兆9,382億円の黒字とほぼ市場予想通り(予想:2兆733億円の黒字)の結果となり、マーケットの反応は限定的。かかる中、東京時間のドル円は101.85レベルでオープン。日経平均株価が軟調に寄り付く中、ドル円は101.60近辺まで小幅に下落するも、その後は同水準で揉み合い推移が続く。午後に入り、中曾日銀副総裁より「マイナス金利を深堀りできないという考えはない」との発言が見られる一方で、「金融機関に与える悪影響も考慮」との見方を示し、玉虫色の内容に動きづらい展開。中曾副総裁講演前に一時101.45近辺まで下落していた分を巻き戻す格好で101.70近辺まで反発すると、101.71レベルで海外市場に渡った。また中国8月貿易収支が発表され、輸出(前年比)は▲2.8%と市場予想(▲4.0%)から大きな乖離はなかったものの、輸入(前年比)が+1.5%と市場予想比(▲5.4%)大きく改善した。但し、マーケットへの影響は総じて限定的なものとなった。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は101.71レベルでオープンし、ECBの金融政策発表を目前に控える中で取引を手控える姿勢が強し(101円台半ばで小動きとなり、101.64レベルでNYへ渡った。注目のECB理事会は主要政策金利、資産購入プログラムの月間購入ペースおよび期限をすべて据え置いた。ECB前のロンドン時間序盤から全般的にユーロを買い戻す動きが強まり、ユーロドルは1.1249レベルでオープンした後1.12台後半まで続伸。ECBの政策発表直後は1.1316まで上昇し、1.1290レベルでNYへ渡った。ロンドンドルは1.3333レベルでオープンし、1.33台後半まで一時上昇。しかし、ECB前のユーロ買戻しでユーロドルが上昇したことを受け、ロンドン時間中盤にはロンドンドルは反落し、1.3344レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	ECB理事会を控え、ドル円は101.70水準を挟んでの推移から101.64レベルでNYオープン。朝方発表されたECB金融政策は主要金利据え置き。その後行われたドラギ総裁の会見では「資産購入プログラムの延期については話していない」、「現時点では追加緩和と必要ない」と一部で期待されていた資産購入プログラムの延長の発表もなく、現状では追加緩和に消極的な発言を受けてユーロ円が上昇する展開に、ドル円も連れ高となり101.80付近まで小幅上昇。昼前には米長期金利の上昇を受け、東京時間高値の101.91を抜けると、102円付近のストップを巻き込み102.55まで上昇した。また米原油在庫が予想を大きく下回り、WTI原油が47ドル台を回復したこともサポート材料となり、ドル円は一時102.60まで上昇し、102.49レベルで海外市場に渡った。一方ユーロドルは1.1290でNYオープン。追加緩和に消極的なECBドラギ総裁の発言を受け一時1.1328まで上昇したものの、米長期金利の上昇を受けドル買いが優勢となると日安の展開に1.1243まで反落し、1.1261レベルで海外市場に渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。